



## ○時間がたっぷりあったから『鬼滅の刃』を一気見してみた件

ゴールデンウィークにテレビアニメ版『鬼滅の刃』全26話を一気に見た。背景の絵のうつくしさと禰豆子のけなげさにすっかりやられてしまった。おもしろかったし、人気の理由もなんとなくわかった。一気見最高。物わすれのはげしい身には特に。話がつながり、流れがつかめる。

なかでも興味をもったのが、「鬼」という、わからないことへの恐怖が大きな素材として描かれていたことだ。まさに今私達が直面していることではないか（最近は何を見てもその傾向があるが）。だからといって「鬼滅の刃」が予言の書だとか言いたいのではない。このようなことは、大昔からあったことである。かつて何度も私達は大いなる恐怖にさらされてきたし、どうしてよいかわからない中、失敗をしたり犠牲を払いながらも、それを克服してきた歴史がある。それが私達にとって大きなテーマとなり、物語としても長年にわたってたちあられてきたのであろう。例えばそれが『進撃の巨人』（これはマンガでも読んでいたが、少し前にアニメもほぼ一気見した。様々な見方のできる傑作。おすすめ。見直しも。）だろうし『風の谷のナウシカ』（大傑作。アニメも悪くないがあれはごく一部。是非マンガで）だろうし『ゾンビが来たから人生見つめ直した件』（NHKのよるドラ。人に勧められて見たがとんでもなくよい）なんかもそうだろう。売れに売れているカミュの『ベスト』や病と人間を描いた上橋菜穂子の最高のファンタジー『鹿の王』など、この種のものはいくらでもある。そこから学ぶこともできるだろうし、別な楽しみ方もいくらでもできる。

いずれにしてもまた面白いものに出会えたのは収穫だ。あまりに、はやりすぎて（オリコン上位10位独占！）ちょっと引き気味だったのだけど、時間があったからこそ見てみようと思えたことは間違いない。時間があることは本当に貴重だし贅沢なことなのだ。

本当は『鬼滅の刃』について誰かと語り合いたい（善逸はあれでいいのかとか）のだけど、それは学校再開の時に。ただネタバレだけはご容赦を。ちなみに今のところ次の一気見候補は映画『ゴッドファザー』（3作で538分）である。